

研究課題名	進行・再発肺癌における腫瘍微小環境と治療効果との関連性を検討する後向き観察研究
研究の意義・目的	この研究の目的は、薬物治療開始前の腫瘍組織検体を使用して腫瘍免疫に関係する様々な蛋白を免疫染色で評価し、その蛋白の有無と治療効果との相関を明らかにすることです。この研究は、患者さんに免疫療法の効果が期待出来るどうかの評価を適切に行うための足がかりとなることが期待されます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2025年10月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2015年12月～2020年7月に大阪公立大学医学部附属病院の呼吸器内科で、進行・再発肺癌に対して化学療法を受けた方および2015年12月～2020年12月に同院の耳鼻咽喉科で扁桃摘出術を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>試料：生検または手術で得られた腫瘍組織検体、摘出扁桃検体</p> <p>診療情報等：病歴、年齢、性別、喫煙歴、既往歴、内服薬、血液検査データ、CT画像、放射線治療歴、化学療法の内容、治療効果、生存期間、治療に伴う有害事象</p> <p>過去に採取したがん組織が小さい場合、本研究での使用によって組織量が更に少なくなったり消失したりする可能性があり、その後の追加検査に支障が生じたり追加検査が出来なくなることが稀にあります。</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院呼吸器内科内で行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。大阪公立大学医学部附属病院耳鼻咽喉科で行うものではありません。また、共同研究機関である石切生喜病院呼吸器内科とベルランド総合病院呼吸器内科から試料・情報の提供を受けて研究を実施します。
この研究を行っている共同研究機関	<p>共同研究機関名：石切生喜病院 研究責任者：南 謙一</p> <p>共同研究機関名：ベルランド総合病院 研究責任者：泉 源浩</p>
試料・情報を管理する責任者	<p>代表研究機関：大阪公立大学大学院医学研究科</p> <p>所属：呼吸器内科学</p> <p>研究代表者：川口知哉</p>
本研究の利益相反	<p>研究費の支出については、大阪公立大学の財務会計システムで管理されております。</p> <p>本研究の利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。また、必要に応じて、当該研究経過を大阪公立大学利益相反マネジメント委員会へ報告等行うことにより、本研究の利害関係についての公正性を保ちます。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学</p> <p>中濱 賢治</p> <p>電話番号：(06) 6645-2306</p>